

環境学習フォーラム報告

環境学習施設研究部会では、第5回目の環境学習フォーラムを、「処理不適合物や危機管理対応」をテーマに、10月25日（月）15:15～16:45、ハイブリッドの第6会場で開催し、会場への参加者29名、オンラインでの参加者23名の合計51名が参加された。

※記録映像は、次のアドレスで公開している。

<https://www.facebook.com/facilities.env.edu.888/videos/346908053902631/>



図1 座席間隔をとったフォーラム会場

1. 開催挨拶

司会 花嶋温子 副代表（大阪産業大学）

2. ハンドブック連続講座（2）

導入説明&コーディネイト

本研究部会 山口茂子氏（川崎重工業）

基調講演 「リチウムイオン電池による発火事故と対策」 清水健太郎氏
（日本容器包装リサイクル協会）

3. 代表退任特別講演 京都大学名誉教授、 本研究部会 高月 紘 代表

最初に、山口運営幹事から連続講座の導入説明を行い、続いて日本容器包装リサイクル協会の清水健太郎氏から、「リチウムイオン電池による発火事故と対策」と題して、廃棄電池による事故の現状や適正処理へ向けての啓発手法等をご紹介いただいた。施設運営に携わる面々は襟を正して拝聴した。



図2 リサイクル協会の清水健太郎氏

最後に、高月 紘氏のオンライン講演があり、その中で、長年描き蓄積された環境マンガの活用提案もいただいた。（ご興味のある方は記録映像をご覧の上、事務局・鈴木へ）

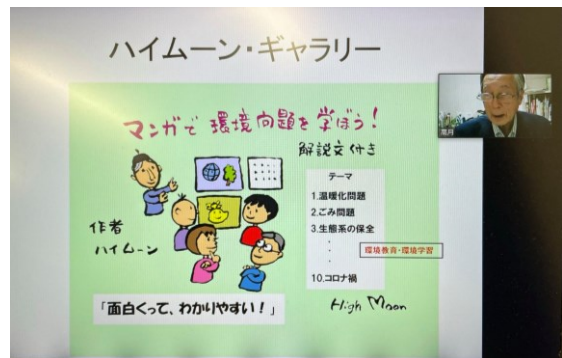


図3 高月代表のオンライン記念講演



図4 高月代表と部会メンバーとの記念撮影

本研究部会ホームページ (facebook) にて、環境学習フォーラムの記録動画を公開中。

鈴木榮一（環境学習施設研究部会 事務局）

環境学習企画展示報告

環境学習施設研究部会では、第5回目となる企画展示を、「施設のコロナ感染対策」をテーマに、10月25日(月)～26日(火)の2日間、会場の2階ロビーで開催した。今回はコロナ対策の関係で常駐説明者を置かず、正確な来場者数はふみみであるが、50名程度と推定する。また今回はハイブリッド展示ということで、開催2週間前からWEB展示も設置した。開催期間まで、のべ400回弱の表示記録があった。現在も公開中である。(アドレス: <https://e-ed.jp/2021/index.html>)

【出展内容】

- ①廃棄バッテリー等の処理不適物防止啓発、不適処理の実物サンプルや写真等の展示
- ②世界のごみ箱・分別箱写真(市民部会と共催)
- ③高月紘先生・環境イラスト展示(2021年カレンダー画)
- ④「環境学習テーマに繊維ごみ資源化も！」協力:繊維リサイクル技術研究会(日本繊維機械学会)
- ⑤秋の視察研修会ポスター&チラシ配布

WEB展示会場では、学会のポータルサイト「開催行事(一般公開・無料)」より環境学習施設展示を選択クリックすることにより、図1のポータルサイト(展示メニュー画面)を表示させ。この画面の中から見たい展示内容をクリックすることにより、図2のような展示内容を見ることが出来る。

本WEB展示は、学会開催後も継続する予定である。

鈴木榮一(環境学習施設研究部会 事務局)



図1 不適処理実物展示



図2 展示会場



図3 WEB展示ポータルサイト



図4 WEB展示(繊維ごみ資源化も！)



図5 WEB展示(環境イラスト展示)